

**製品名: CD11b ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87548**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:500, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:128 kDa; Observed MW:170 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CD11b
別名	CR3; CR3A; MAC1; Cd11b; Ly-40; Mac-1; Mac-1a; CD11b/CD18; F730045J24Rik
遺伝子ID	16409
SwissProt ID	P05555
免疫原	マウス CD11b の合成ペプチド

**背景**

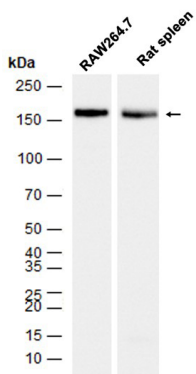
この遺伝子はインテグリン  $\alpha$ M 鎖をコードします。インテグリンは、 $\alpha$  鎖と  $\beta$  鎖からなるヘテロ二量体の膜貫通タンパク質です。こ

のIドメインを含む $\alpha$ インテグリンは、 $\beta 2$ 鎖 (ITGB2) と結合して、マクロファージ受容体1 (「Mac-1」) または不活性化C3b (iC3b) 受容体3 (「CR3」) と呼ばれる白血球特異的インテグリンを形成します。 $\alpha M\beta 2$ インテグリンは、刺激を受けた内皮細胞への好中球および単球の接着、ならびに補体被覆粒子の貪食に重要です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009年3月]

## 研究分野

-

## 画像データ



RAW264.7 細胞およびラットの脾臓組織からの抽出物を CD11b ウサギモノクローナル抗体を使用して 1:1000 でウェスタン ブロット分析しました。